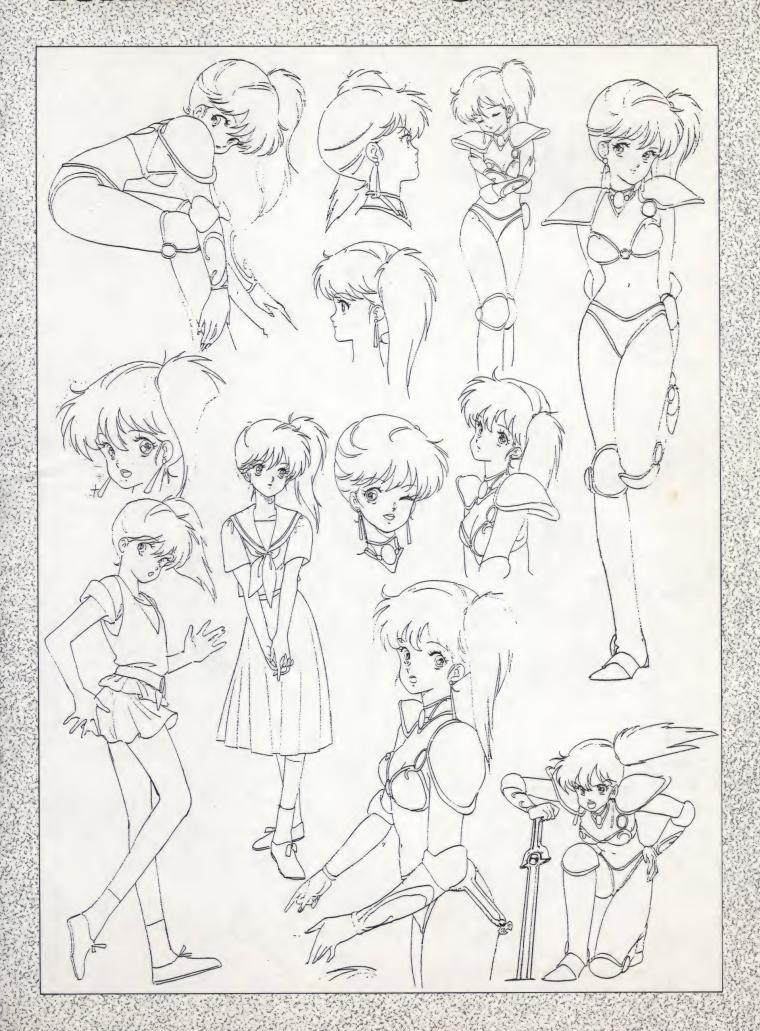




Yohko

Character



Character Yoni Ringhum



Zell

Character

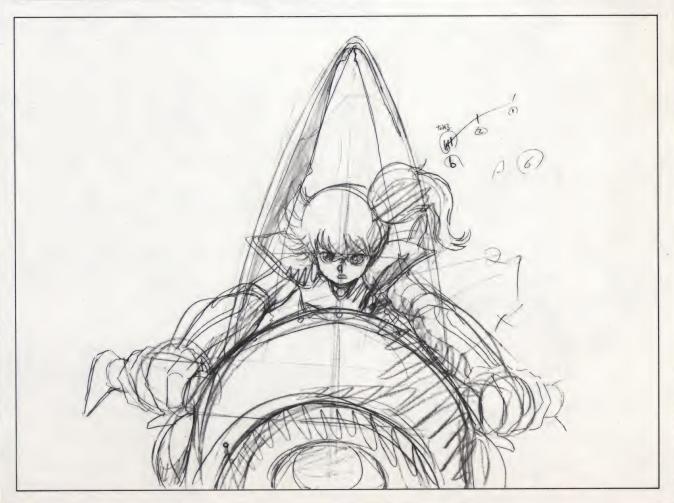








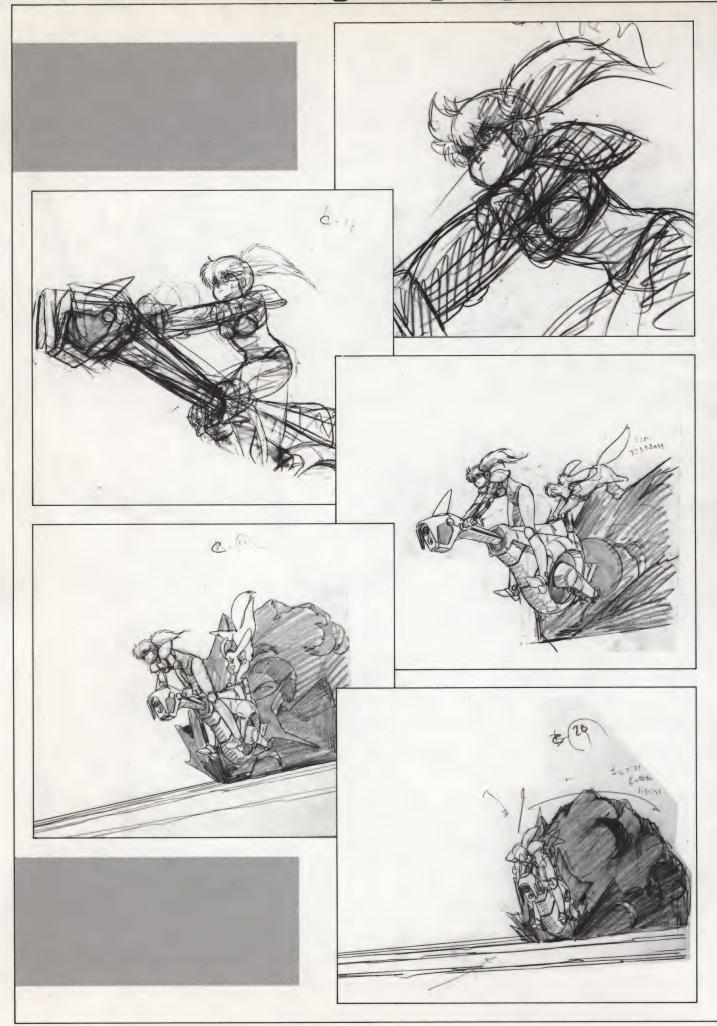


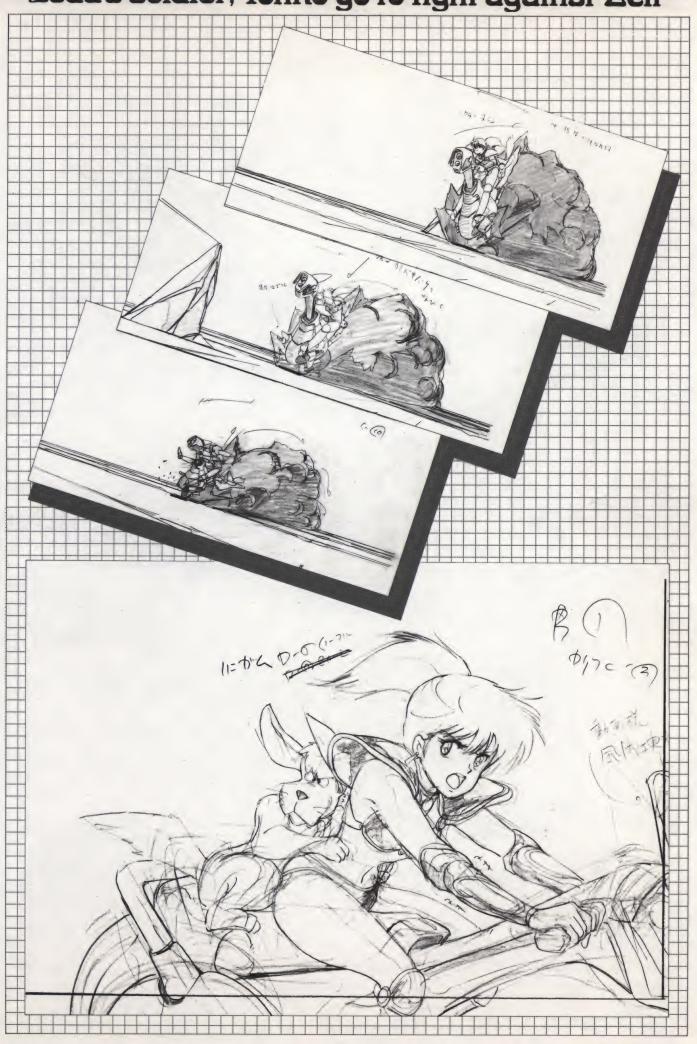


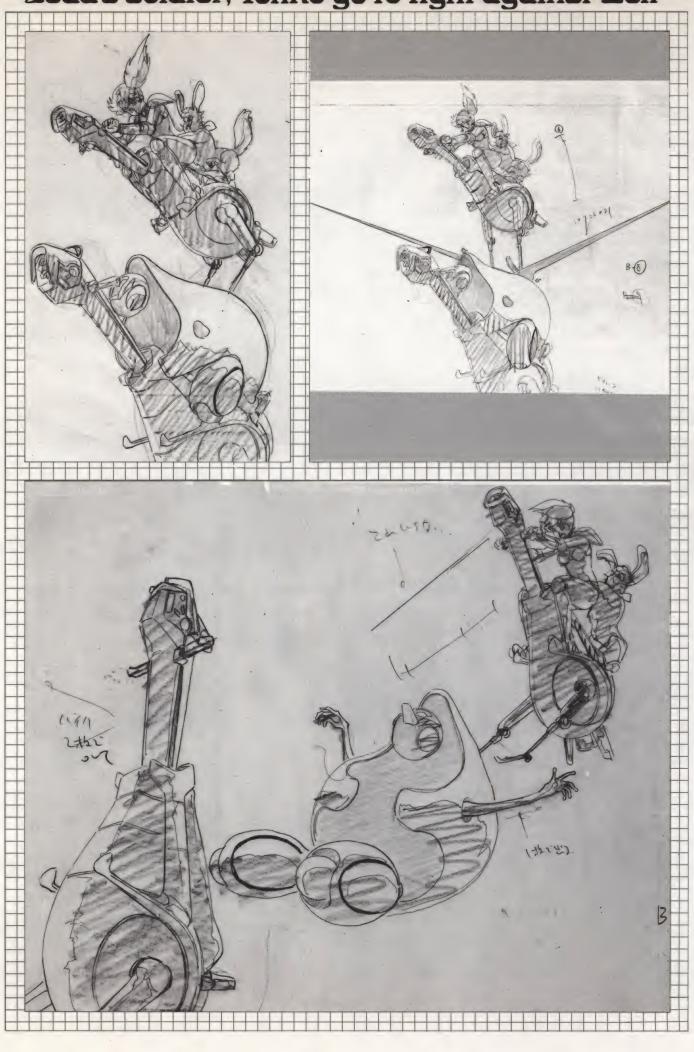


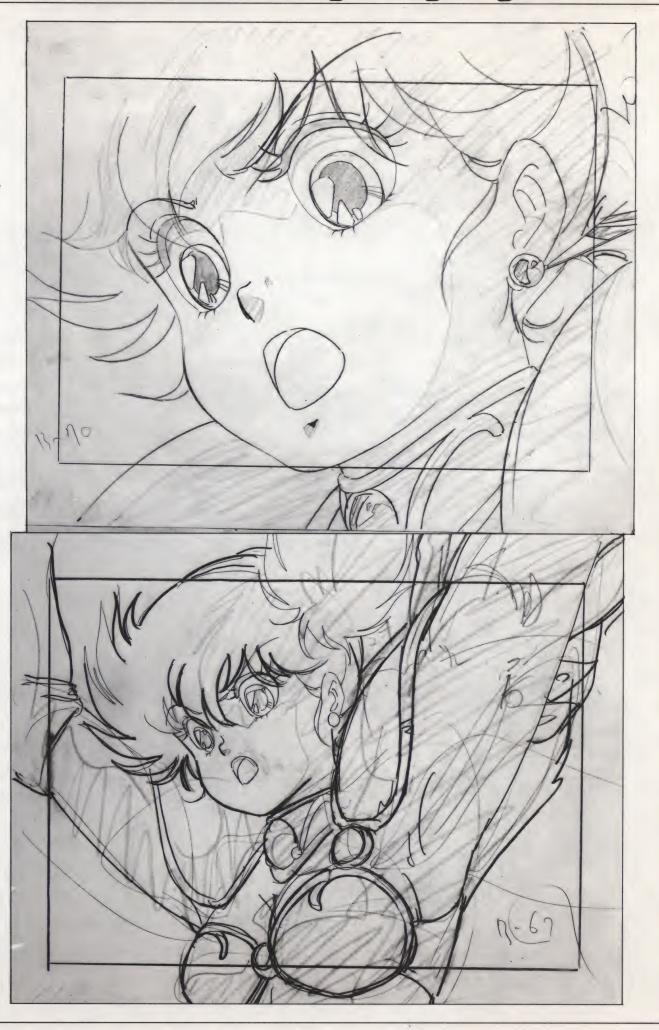












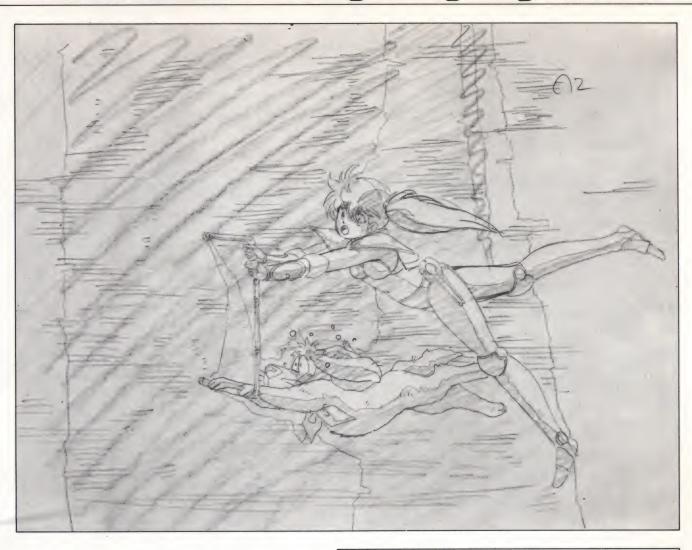


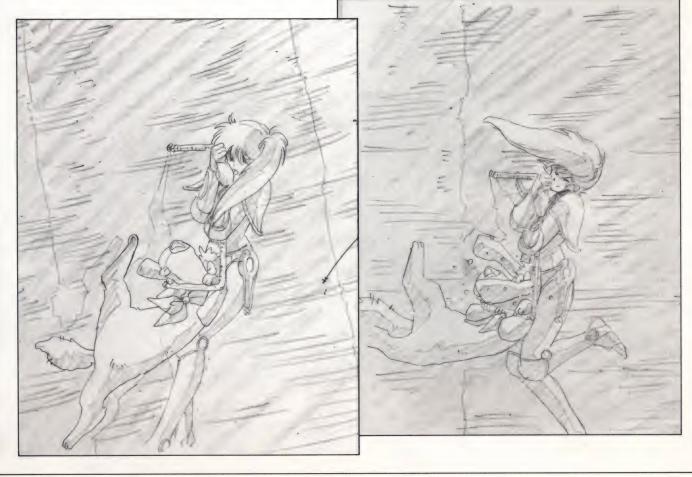










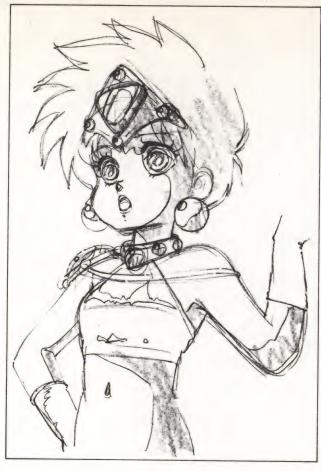








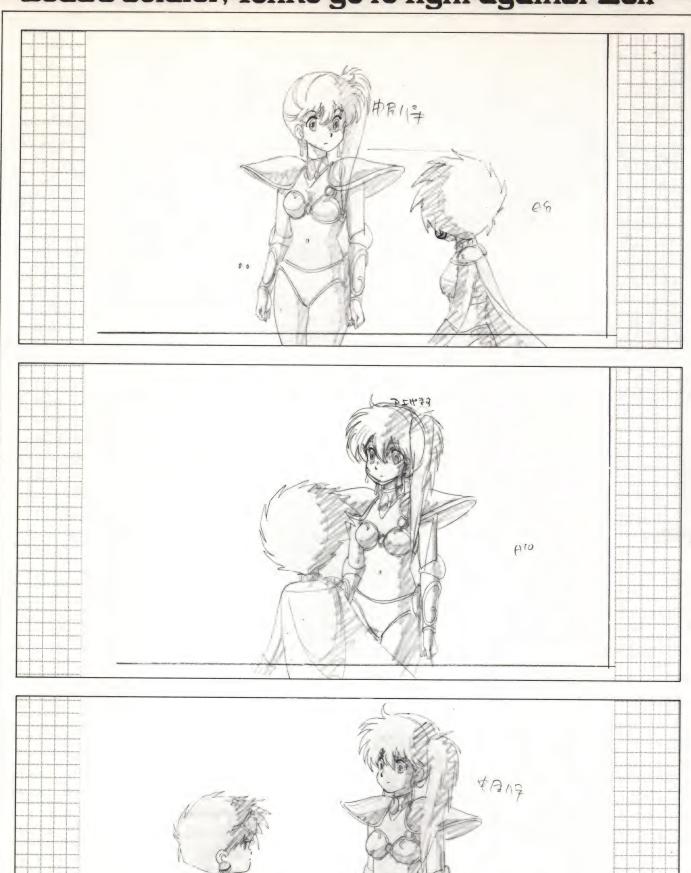


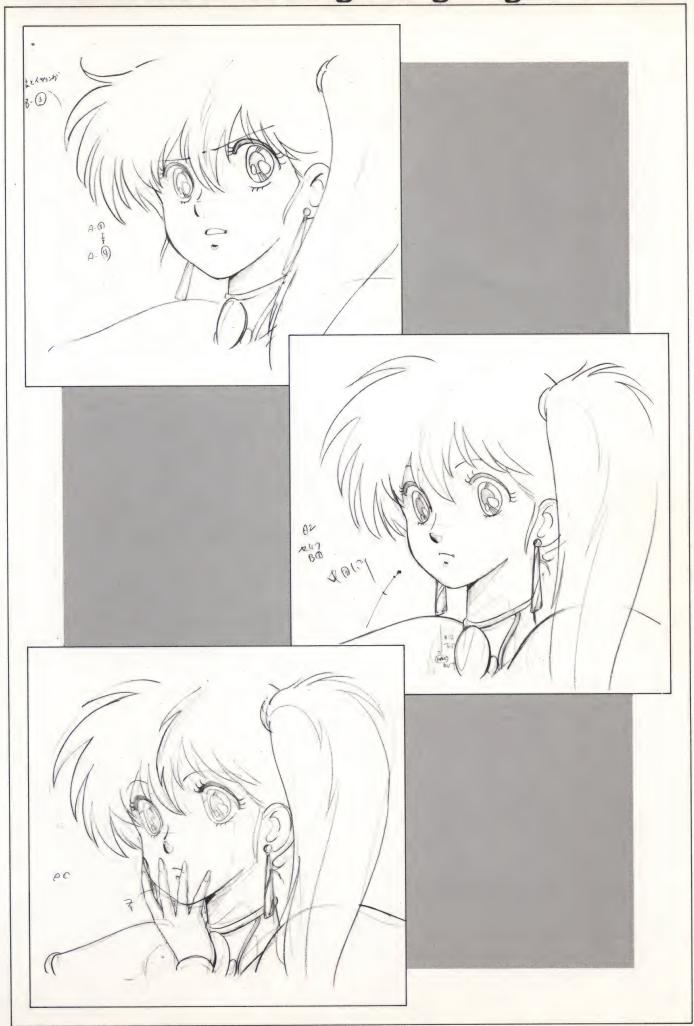


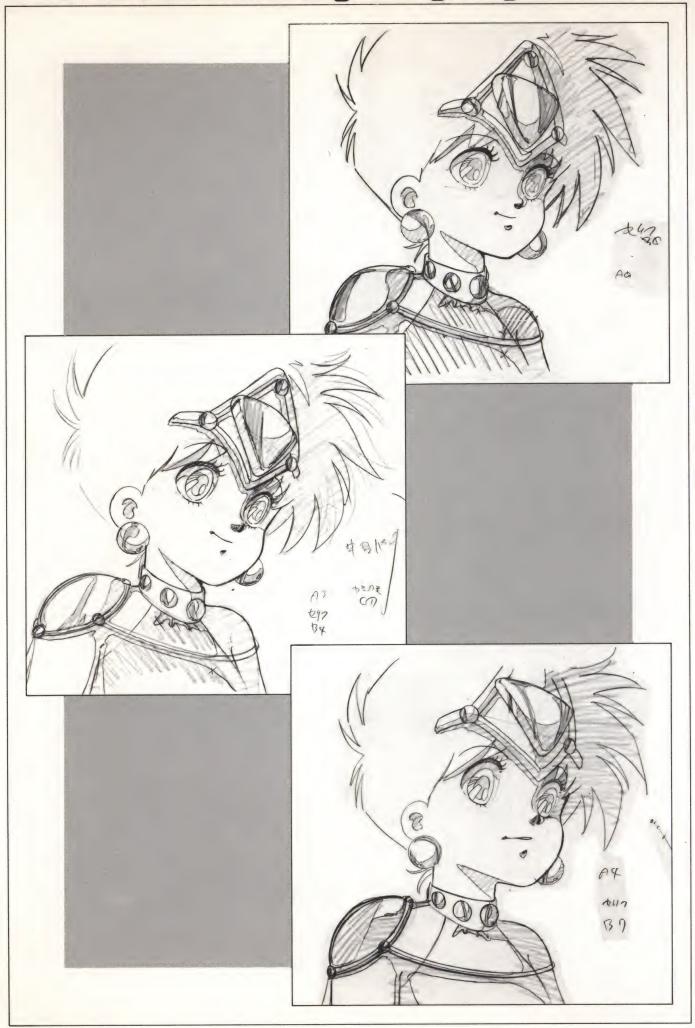




















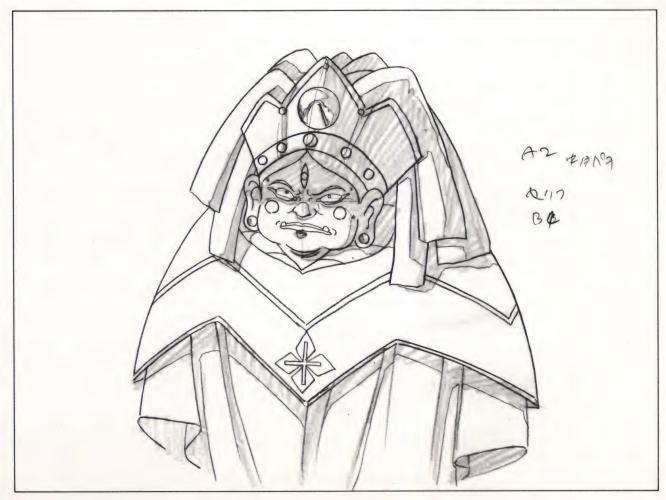








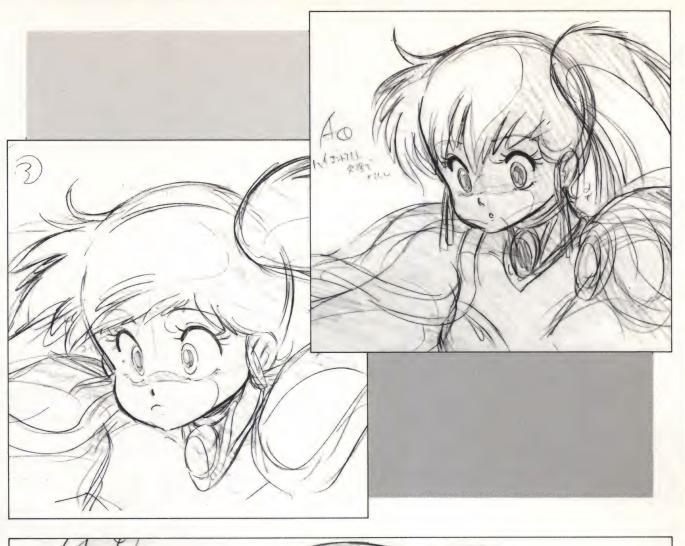




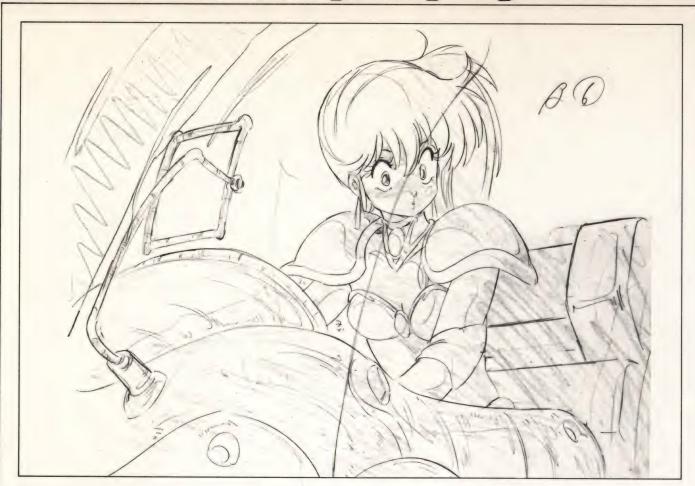










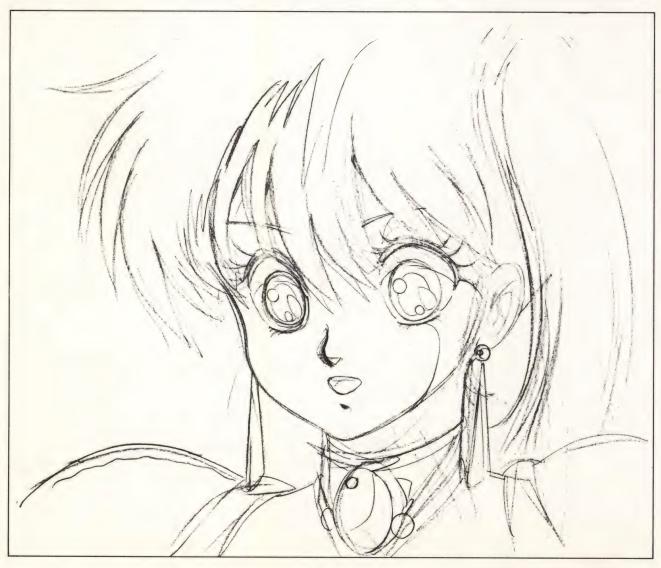








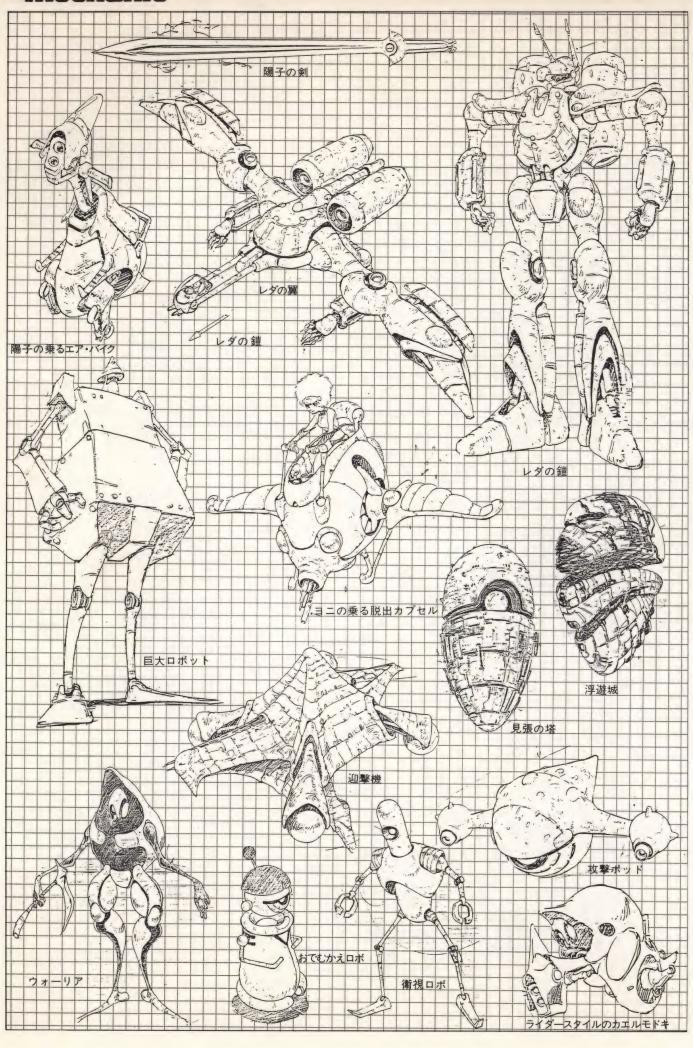


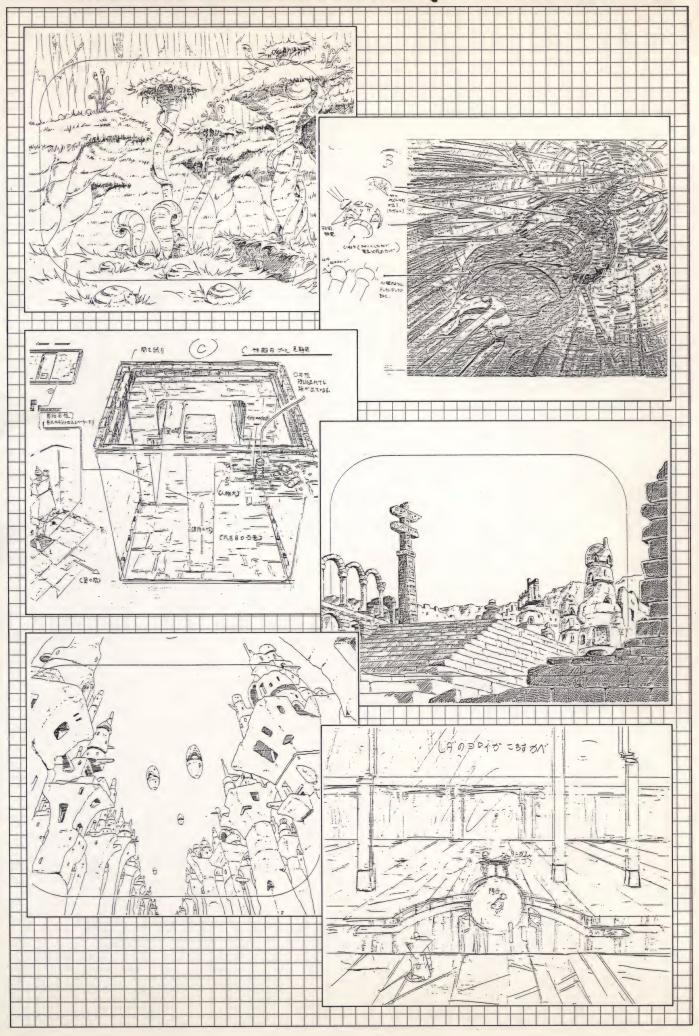




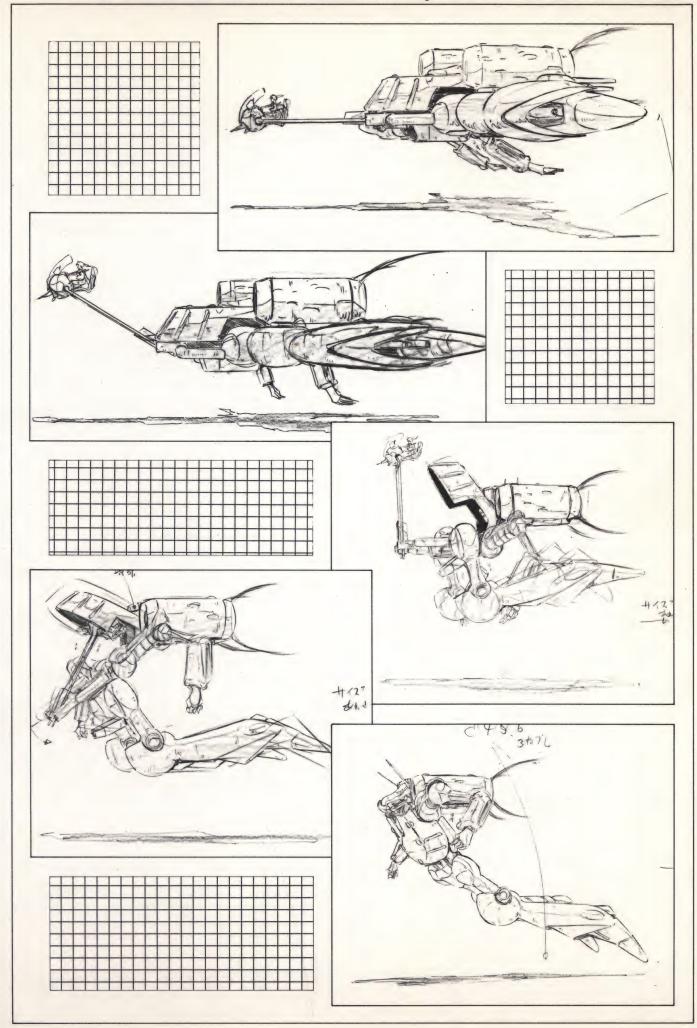


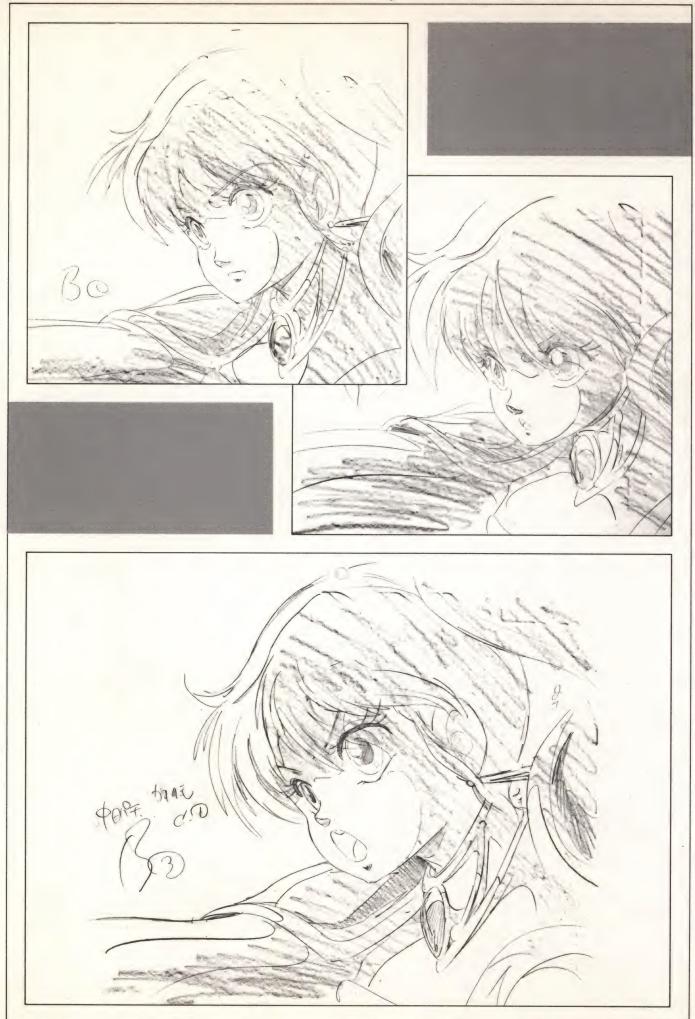
meehanie

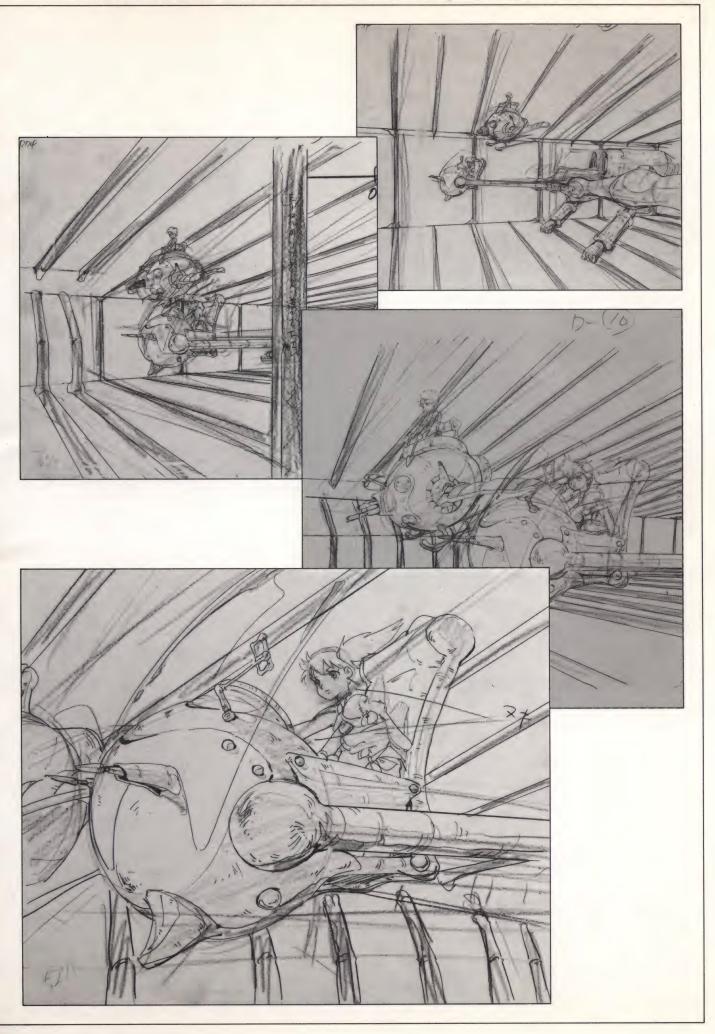


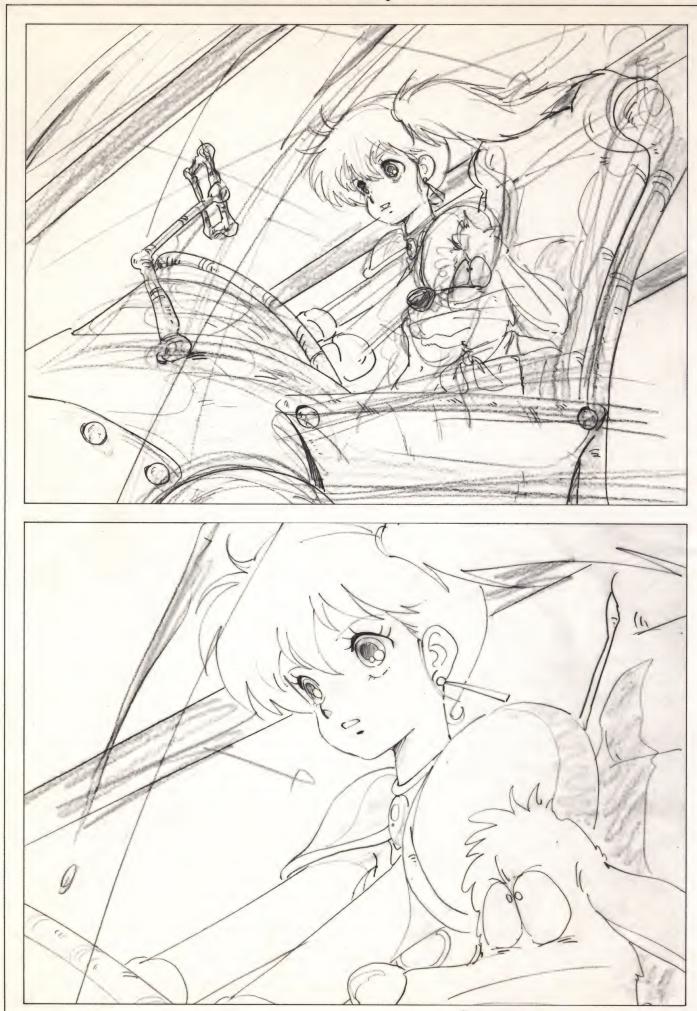


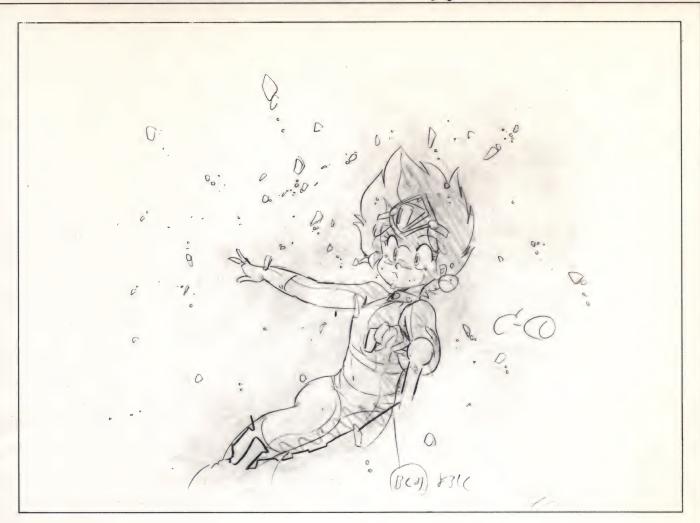


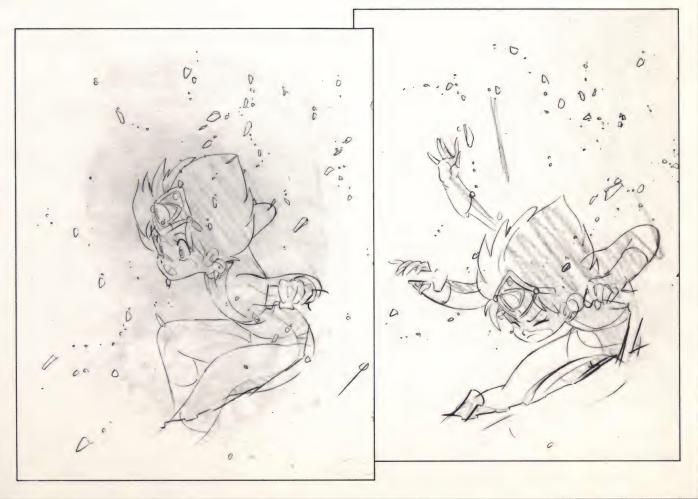


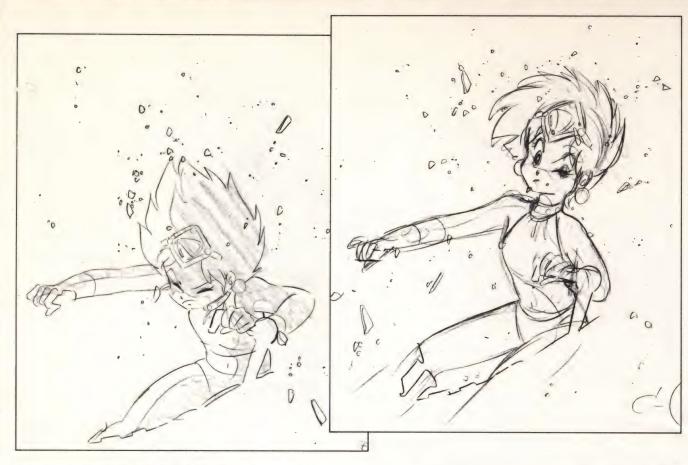












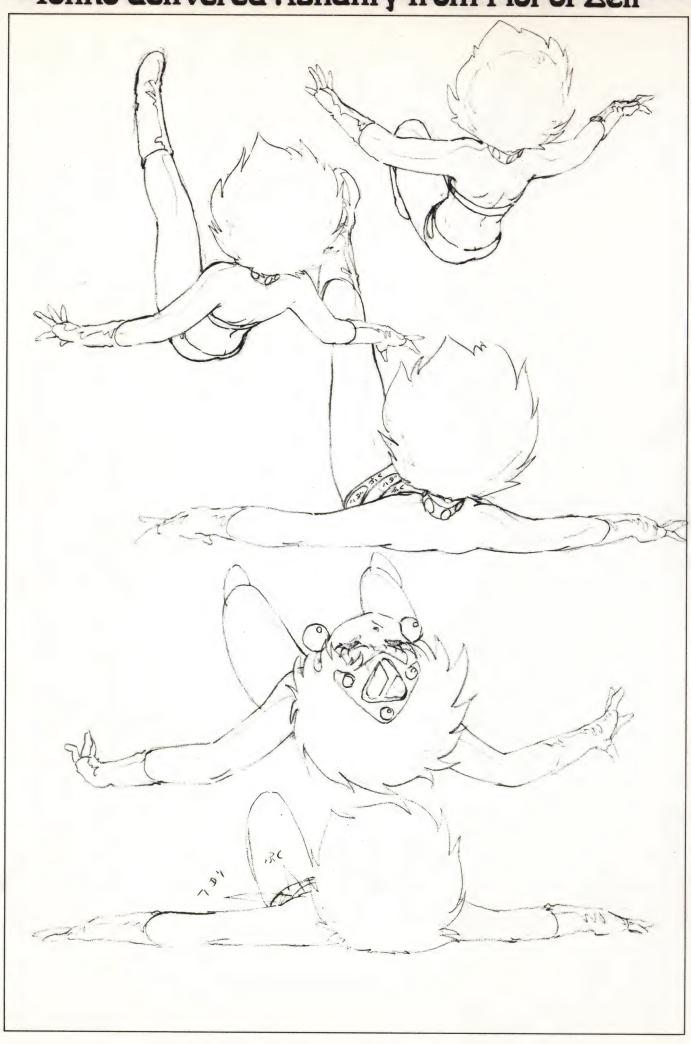
















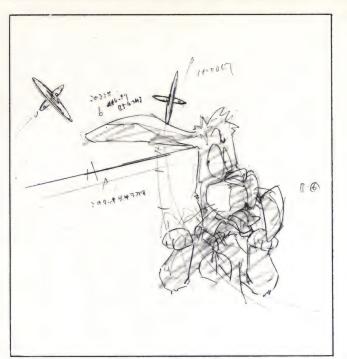


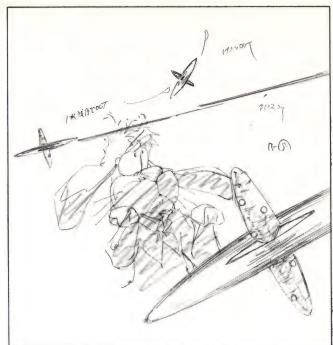












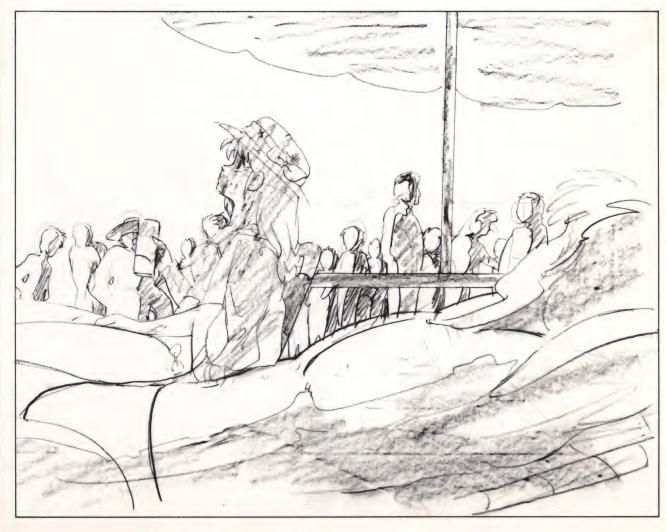


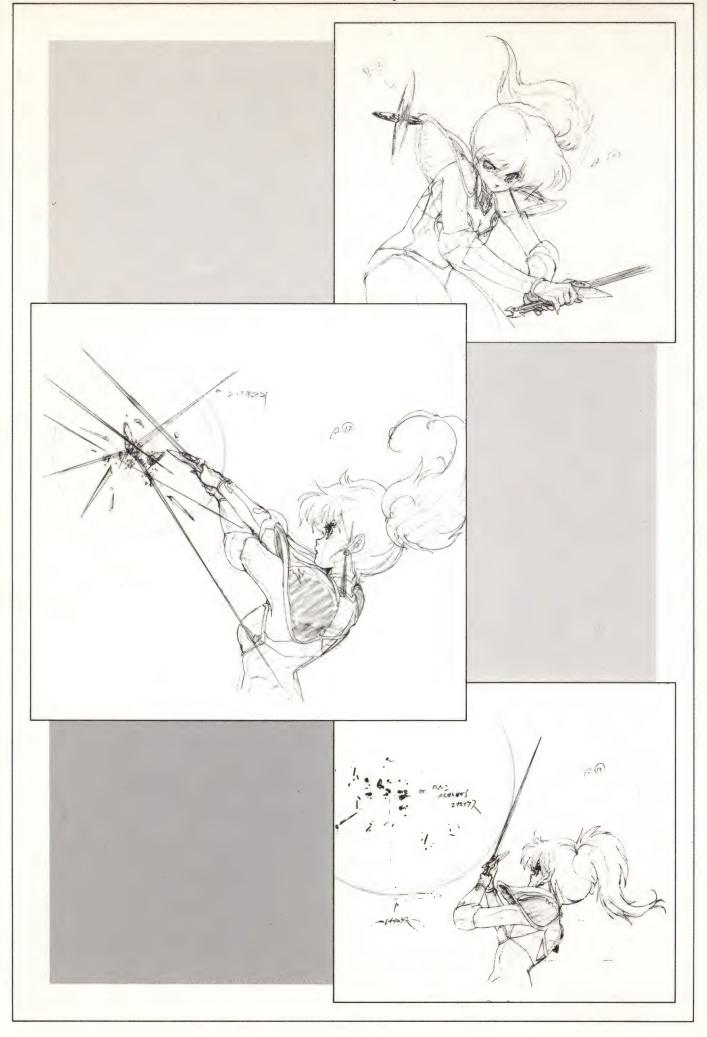




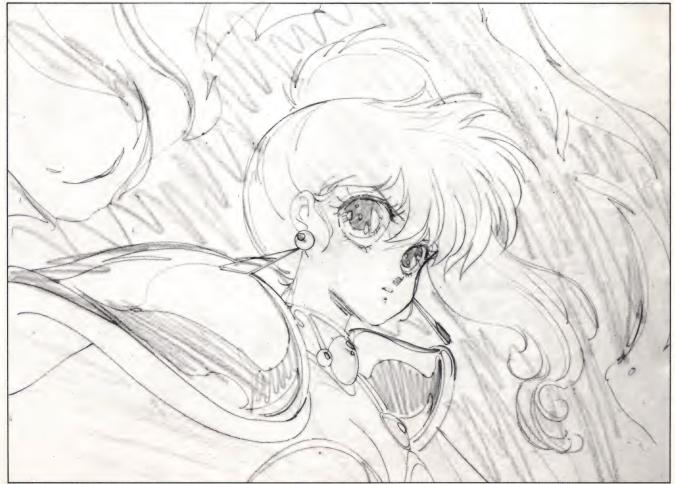








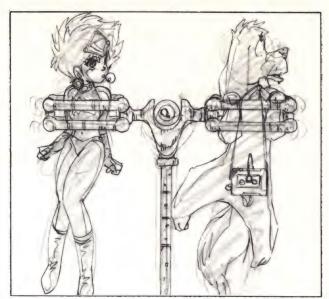




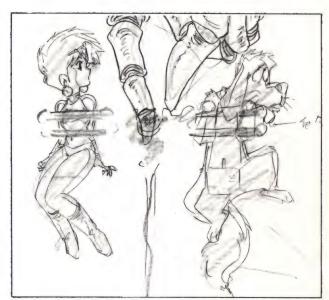




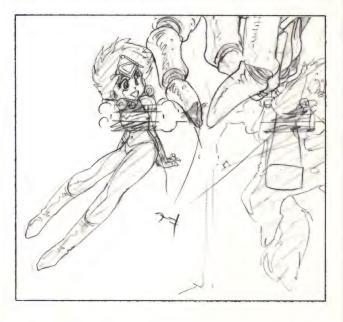












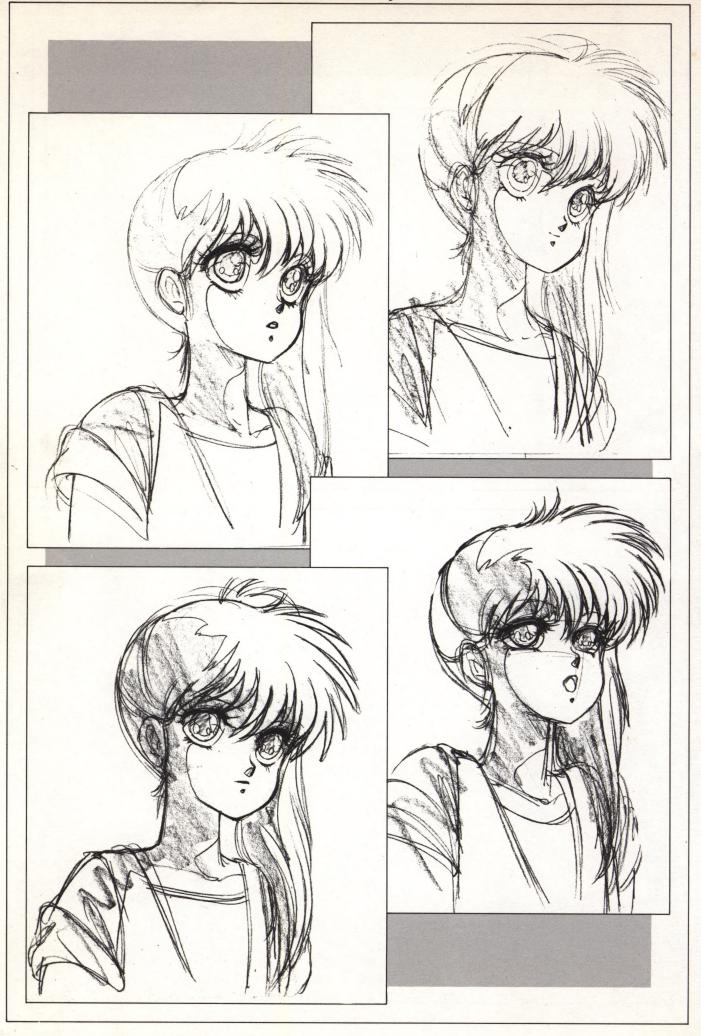


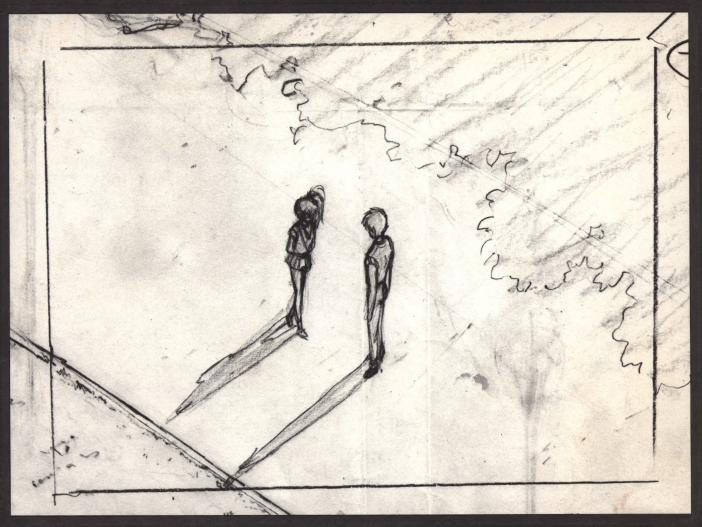












この本を手に取られた方々へ

「幻夢戦記レダ」は、劇場公開もない純粋なオリジナルビデオアニメーションという分野の中で、約3万本という驚異的なセールスを記録することができました。原作もなく、一般的な知名度はゼロに近い状況の中でこれだけ多くの人達に愛される作品になり得たということは、ファンの皆様の暖い御支援のたまものと、スタッフ一同心から感謝しております。特にビデオは高価な物ですので、果してその金額に見合う内容に、仕上っているかどうかに作り手側の大きな責任を感じます。

ビデオという市場においてこれからも作品をリリースしていく訳ですから、カナメのアニメであれば面白いという、信頼を築くまで頑張っていきたいと思います。

さて、原画というものは、料理前の材料みたいなもので、本来公開するものではないのかもしれません。フィルムになるという計算のもとに描いているものですから、止まった状態の一枚一枚には、描き手(アニメーター)のニュアンスは、正確には決して出ないからです。そういう意味も含めて、この原画集では、このシーンは誰の原画と記すという形は、あえてとりませんでした。

こうした原画から、フィルムが出来上っていくのだという資料としてとらえていただければ幸いです。

長尾 聡浩

メインアニメーター

いのまたむつみ/影山楙倫/林隆文/毛利和昭/土器手司/田村英樹/上妻晋作/大貫健一/合田 浩章/伊藤コウジ/福島喜晴/村中博美/和田卓也/豊増隆寛/小原渉平/渡辺真由美/山内英子



Fantastic Adventure of

Yohko